

国語科学習指導案

日時 平成18年1月24日(火) 5校時

児童 第3学年1名

第4学年2名 計3名

指導者 教諭

1. 単元名「心の通い合いを読もう」

学習材名「おにたのぼうし」

2. 単元について

文学教材「おにたのぼうし」を創造性豊かにじっくりと味わう「読むこと」単元である。「学習のてびき」を核にして、場面の移り変わりに応じた「おにた」の心情を想像したり、手紙を書いて、自分の思いを相手に伝えたりすることで、子どものものの見方を広げ、人間や身のまわりのもの・ことに対する認識を深めることをねらいとした単元である。

3. 学習材について

(1) 学習材の位置づけ

「おに」に対する子ども達のイメージといえば、「桃太郎」に出てくる鬼ヶ島の鬼や、「こぶとり爺さん」に出てくる鬼など、傍若無人で人間に敵対するといったものが多い。

ところが、ここで登場する鬼「おにた」は、とても優しい心をもった鬼で、病気の母親を気づかう女の子に、ごちそうで報いようとする。しかし、その思いは報われず、ついには、「ぼうし」と「黒豆」を残して、忽然と姿を消してしまうのである。二人の心の優しさ、人間と鬼という住む世界の違いから、お互いに理解し合えない悲しさに、子ども達は、共感するであろう。

現実の子ども達の生活の中にもこのような善意のすれ違いや、お互いに理解し合えない悲しさは存在する。自分自身や他者のことを客観的に見る目を育ててきているこの時期の子ども達にとって、人間形成のうえで大きな影響を与える作品である。

4. 研究主題・視点との関わり

物語本文から、叙述に即した人物の気持ちや情景の移り変わりなどを読み取ることは、概ねできるが、創造性豊かに心情を読み取ることや、表現力豊かに自分の考えを話したり、書き表すという面では、課題が残されている。表面的な読み取りではなく、自分の経験や他者との関わりの中から結びつけて考えたり、抒情的なさし絵や場面ごとの文章表現からより深く読み取ったり、書き表したりできるようにしていきたい。

(研究の視点2:「表現活動を支える土台づくり」に関わって)

5. 児童の実態

国語の学習に関心をもち、意欲的・自主的に学習する。漢字の読み書きも大変よくでき、読解力もある。音読では、たどたどしく棒読みになることが多く、感じを込めて読むことが苦手である。また、物語の内容を理解することはできるが、行間から想像性をはたらかせて読み取ったり、感じたことを言葉豊かに表現したり、書いたりすることがあまりできない。

6. 学習材の目標

◎場面の様子を比べて読み、共通点や相違点に気づく。

○人物の悲しい気持ちが伝わるように音読する。

(主領域 読むこと)

7. 評価について

【関心・意欲・態度】

・登場人物の気持ちを想像しながらすすんで本文を音読しようとする。

・心の動きを表す言葉に興味をもち、進んで探したり、その言葉が表している心の動きを想像しようとしている。

【読む能力】

・叙述に即して、登場人物の性格や、気持ちを想像して読み取ろうとしている。

・登場人物の気持ちがよく表れるように工夫して音読しようとしている。

1. 単元名「見方を変えて話し合おう」

学習材名「便利」ということ

2. 単元について

中学年になると、ものの見方が広がり、より活動的になってくる。また、4年生くらいになると相手の気持ちを思いやったり、自分とは違う立場に立って物事を考えたりできるようになってくる。本単元では、「便利」ということは使う人の立場によって違いがあるという筆写の主張を読み取ることをとおして、その意味について考えることをねらいとしており、子ども達に自立と共生を考えることをねらった単元である。

3. 学習材について

(1) 学習材の位置づけ

児童は、普段何気なく使っている身のまわりのものについて、何が便利で何が不便か、あるいは、誰にとって便利で、誰にとって不便なのかといったことについては特に意識しているわけではない。ものが豊富な時代、あってあたり前、できてあたり前が日常的であり、深く追求することはほとんどない。そこで、自分とは立場の違う人の暮らしや、様々な種類のある身近な文房具などを紹介し、「便利」「不便」という視点で考えさせることによって、そこにこめられた人々の知恵に気づくであろう。「便利」とは、全ての人にあてはまることではなく、見方や立場が変わると「便利」ではなくなることに気づいていく。この教材を通して、立場を変えて物事をとらえることを具体的に学び、自分とは違う人を思いやる気持ちを育てていきたい。

4. 研究主題・視点との関わり

地域性や学級の実態からも、日常的に、ある程度限られた範囲での生活を余儀なくされており、立場の違いや、より多くの考え方にふれる機会が極めて少ない。したがって、「便利」ということについて、自分たちとは立場の違う人たちのエピソードや身近な文房具の様々な種類を見て考えることにより、「便利」「不便」についての考え方を深め、広い見方からまとめて表現するといった力を育てていきたい。

5. 児童の実態

国語に対する苦手意識は特になく、学習にもしっかり取り組み、漢字の書き取りや音読もよくでき、物語や説明文の内容もほぼ理解できている。説明文の学習では、正しく書き抜いたり、本文から見つけることをせず、思いこみで答えることが多い。また、気持ちや様子について幅広い見方や考えが思い浮かばず、単調になりがちである。

6. 学習材の目標

◎「便利」の意味を理解するため、内容を大きくまとめたり、

必要などころは細かい点に注意したりしながら文章を読む。

○便利とは何かということを、具体例を出しながら話し合う。

○ポスターセッションをとおして、調べたことなどについて、

筋道を立てて話したり、話の中心に気をつけて聞いたりする。

(主領域 読むこと、話すこと・聞くこと)

7. 評価について

【関心・意欲・態度】

・すすんで、筆写のものの見方や考え方を読み取ろうとする。

【書く能力】

・観点をおさえながら、感想を書くことができる。

・中心になる語や文を書き出してまとめることができる。

【言語についての知識・理解】

- ・新出漢字の読み書きや使い方がわかる。
- ・心の動きを表す言葉があることを知り、その表し方を知り、文章に表すことができる。

【読む能力】

- ・段落の関係や中心になる語・文に着目しながら読むことができる。

【言語についての知識・理解】

- ・新出漢字の読み書きや使い方がわかる。
- ・段落をつなぐ接続詞や、代名詞の指し示すことが理解できる。
- ・熟語の構成について理解できる。

8. 指導計画（10時間扱い）

時	学習活動	評価基準
1	・単元全体の内容を確認、学習の見通しを持つ。	・単元の学習の見通しをもつことができる。
2	・「おにたのぼうし」を読み、初発の感想を書いて場面ごとのめあてを考える。	・物語を聞いて、初発の感想をノートにまとめることができる。
3	・大段落に分け、各段落ごとに、学習のめあてを決める。	・初発の感想をもとに、各段落語との学習計画を立てることができる。
4 (本時)	・(一)の場面から、節分の夜、物置小屋の天井から出て行くおにたの様子と気持ちを読む。	・おにたの性格や、気持ちを読み取ることができる。
5	・(二)の場面から、粉雪が降る中、隠れ場所を見つけようとするおにたの様子と気持ちを読む。	・物置小屋から出て行ったときのおにたの様子や気持ちを読み取ることができる。
6	・(三)の場面から、女の子と母親の姿や、それを見るおにたの様子や気持ちを読む。 ・(四)の場面から、ごちそうを届けた時のおにたと、こっと笑った女の子の気持ちを読む。	・女の子の様子や気持ち、それを見ておにたの気持ちを読み取ることができる。 ・ごちそうを届けるおにたと、ごちそうをもらって喜ぶ女の子の気持ちを読み取ることができる。
7	・(五)(六)の場面から、黒い豆を残しておにたが消えてしまった理由と、豆まきをする女の子の気持ちを読む。	・豆まきをしたいと言ったときのおにたの気持ちと、それをかなえてあげたおにたの気持ちを読み取ることができる。
8	・おにたに対する気持ちを知らせる手紙を書き、交換して読み合う。	・おにたへ、自分の思いを手紙に書くことができる。
10	・心の動きを表す言葉を見つけ、どのような心の動きを表しているか考える。	・心の動きを表す言葉を知り、その意味を理解することができる。

8. 指導計画（3/12）

時	学習活動	評価基準
1	・単元全体の内容を確認、学習の見通しを持つ。 ・『「便利」ということ』を読んで、わかったことや、思ったことをまとめる。	・単元の学習の見通しをもつことができる。 ・本文から、わかったことや自分の考えをまとめることができる。
2	・形式段落・大段落に分け、段落ごとのつながりを調べる。 ・一の場面を読んで、チャイムの便利さについて知り、まとめる。	・段落分けをして、段落相互のつながりがわかる。 ・一段落からチャイムの便利さを理解する。
3 (本時)	・二段落を読んで、「便利」という意味を、具体的な例でまとめる。	・二段落から「便利」の意味がわかり、まとめることができる。
4	・三段落を読んで、便利とはどういうことなのかを、いろいろな視点からまとめる。 ・四段落から、これからの社会での、便利さについて考える。	・三段落から、便利とはどういうことなのか、まとめることができる。 ・四段落から、これからの社会での、便利さについて考えることができる。
5	・身のまわりの便利なもの、不便だと感じることについて考え、ノートに書く。	・身のまわりの便利なもの、不便だと感じることについて考え、ノートに書く。
6	・ポスターセッションについて知り、調べることを決める。	・ポスターセッションについて知り、調べることを決めることができる。
7	・自分のテーマについて調べ、ポスターにどのように表すか考えて、作る。	・調べたことをわかりやすくポスターに表すことができる。
11	・ポスターセッション形式で発表する。	・ポスターセッション形式で発表できる。
12	・ポスターセッションをした感想を書く。	・ポスターセッションをした感想を書ける。

9. 本時案

(1)本時の目標

- ・節分の夜、物置小屋の天井から出て行く、おにたの様子と気持ちを読みとる。
- ・おにたの気持ちを考えながら、感じを込めて音読する。

(2)本時の展開（4/10）

	学習活動	教師の関わり	評価
つかむ	学習課題の確認 課題設定	学習計画に沿って本時の課題を確認させる	本時の学習課題を把握していたか
3分	物置き小屋から出て行く、おにたの様子や気持ちを考えよう		
かんがえる	音読	(一)の場面を音読させる *学習課題を意識して読ませる	気持ちや様子が表れるように音読することができたか

9. 本時案

(1)本時の目標

- ・「便利」とはどういう意味か考え、「便利」と「不便」の関係や、現在の「便利」ということに対する考え方が理解できる。
- ・本文の内容を意識しながら、相手に伝わるように工夫しながら音読する。

(2)本時の展開（3/12）

	学習活動	教師の関わり	評価
	前時の復習	プリント配布	前時の学習内容を思い出すことができたか
	学習課題の確認	学習計画に沿って本時の課題を確認させる	本時の学習課題を把握していたか

<p>おにたの性格</p>	<p>本文からおにたの性格を想像し、まとめさせる *おにたの絵を提示。なぜ帽子をかぶっているのか着目させる</p>	<p>おにたの性格を想像することができたか</p>	<p>課題設定</p>			
<p>15分 ふかめる</p> <p>おにたの人間に対する気持ち</p>	<p>「人間っておかしいなあ…」からおにたの気持ちを考えさせる</p> <p>発表させる</p>	<p>おにたの悲しい気持ちをまとめることができたか</p>	<p>「便利」とは、どういうことか考え、まとめよう</p> <p>音読 (二) 段落を音読させる。 * 学習課題を意識して読ませる</p> <p>「便利」とはどういうことか ワークシートに沿って進めさせる。</p> <p>「便利」なものをさがす 「便利」の意味についてまとめさせる 身のまわりで便利なものをさがさせる</p> <p>発表させる ある人には便利だが、ある人には不便だというものを考えさせる</p>	<p>学習課題を意識しながら読むことができたか</p> <p>「便利」の意味を正しくまとめることができたか 身のまわりで便利なものをさがすことができたか</p> <p>「便利」と「不便」の関係 「便利」と「不便」の関係をみつけることができたか</p>	<p>3分 かんがえる</p>	<p>27分</p>
<p>22分</p> <p>物おき小屋を出て行くおにたの気持ち</p>	<p>物おき小屋を出て行った時の、おにたの気持ちを考えさせる</p> <p>発表させる</p>	<p>物おき小屋を出て行った時の、おにたの気持ちを考えることができたか</p>	<p>現在の「便利」の考え方</p>	<p>現在の「便利」という考え方はどのようなようになってきているのか考えさせる。</p>	<p>現在の「便利」という考え方についてまとめることができたか</p>	<p>ふかめる</p>
<p>ひろげる 5分</p> <p>音読 次時予告</p>	<p>おにたの気持ちを考えながら音読させる</p> <p>次時の学習内容を確認させる</p>	<p>おにたの気持ちを考えながら音読できたか</p> <p>次時の学習内容が確認できたか</p>	<p>次時予告</p>	<p>いろいろなはさみを使わせて、実感させる</p> <p>次時の学習内容を確認させる</p>	<p>いろいろな種類のはさみの使い方がわかったか</p> <p>次時の学習内容が確認できたか</p>	<p>10分</p>

(3) 本時の評価

- ・節分の夜、物置小屋の天井から出て行く、おにたの様子と気持ちを読みとることができたか。
- ・おにたの気持ちを考えながら、感じを込めて音読できたか。

(3) 本時の評価

- ・「便利」とはどういう意味か考え、「便利」と「不便」の関係や、現在の「便利」ということに対する考え方が理解できたか。
- ・本文の内容を意識しながら、相手に伝えるように工夫しながら音読できたか。